

## 水口岡山城跡の構造

「本丸」の北側には部分的に石垣が残っています。廃城後の破壊などにより当時の面影を部分的に残すのみですが、帯曲輪面から石垣がそびえ立っていたとすると、石垣の高さは約16mになります。おそらく「本丸」は総石垣であったと推定されるので、当時の威容を想像することができるでしょう。また、山頂部周辺には瓦が散布しており、礎石のような石も点在します。櫓をはじめとする建物が存在したことは確実です。「本丸」の東端と西端に土壇状の高まりがありますが、「江州水口絵図」Ⅱ（寛永期、中井家蔵）によれば、東端が「天守」であり、西端も櫓台状に描かれています。どちらを天守とするかについては、今のところ決め手を欠く状況です。

「本丸」の北と南にある帯曲輪の東端は二箇所の食い違い虎口が設置されています。また、「本丸」の南側が大手道にあたり、中腹付近には枡形虎口が存在します。これらによって「本丸」周囲の防御性が高められていると言えます。

## 水口岡山城下町と近世水口宿

現在、水口岡山城跡の南側山麓には近世の水口宿の町並みが広がり、旧東海道が東西に通ります。水口宿のうち、近江鉄道水口石橋駅近くの「石橋」以東が水口岡山城下町と考えられています。いわゆる紡錘形の「三筋町」です。

近世水口宿を描いた絵図には水口岡山城の山麓堀や三箇所の枡形虎口が描かれています。

堀跡は水口小学校南側の水路（馬渡川）に比定できます。枡形虎口は、「西追手」が水口小学校正門付近、「大手」が大岡寺門前付近、「東追手」が湯屋町（水口町元町）北側と推定されます。

三箇所の枡形虎口は等間隔に配置され、城下側にのびる道も等間隔で東海道と交差します。城下町とともに山麓部の堀や虎口が計画的に建設された状況をうかがわせます。



水口岡山城出土軒瓦



現在の石橋

大手枡形推定地から城跡を望む

## こちらも見学してみてください！



水口歴史民俗資料館  
毎年4月20日に行われる「水口曳山祭」の曳山を展示しているほか、東海道水口宿を中心とした歴史・考古資料や民俗資料を展示しています。  
開館/10:00~17:00  
休館/木・金・年末年始  
入館料/大人150円  
小中学生80円



水口城跡（水口城資料館）  
徳川幕府三代将軍家光が寛永十一年（1634）に京都へ上洛する際に宿館として築城した城跡です。作事奉行には建築や作庭で著名な小堀遠州があたりました。現在、復元した櫓は資料館となっています。  
開館/10:00~17:00  
休館/木・金・年末年始  
入館料/大人100円・小中学生50円

観光情報をもっと知りたい方はこちらへアクセスしてください。  
甲賀市観光協会HP <http://www.koka-kanko.org>  
携帯版 (i-modeのみ対応) <http://www.koka-kanko.org/i/>

城跡についてさらに詳しく知りたい方へ

『甲賀市史』第7巻 甲賀の城 絶賛好評発売中!

お問い合わせ先  
甲賀市教育委員会 歴史文化財課  
電話0748-86-8026  
FAX0748-86-8216

# 水口岡山城跡



水口岡山城跡と城下町

水口岡山城は、天正十三年（1585）羽柴秀吉の家臣である中村一氏によって大岡山に築かれました。築城に際して大溝城（高島市）の部材を再利用したと言われ、同じ型で作った軒丸瓦が出土しています。

一氏の後、ともに近江国出身で豊臣家五奉行の地位にあった増田長盛、長束正家が城主となります。慶長五年（1600）関ヶ原の合戦で西軍に属した正家は戦後に自刃し、水口を直轄支配した徳川家康によって水口岡山城は廃城とされました。江戸時代、城のあった山全体は水口藩の御用林となり、山頂の八王子社（現阿加宮）祭祀時以外は諸人の立ち入りが禁じられました。

城の範囲は比高約100mの古城山一帯です。山頂に東西に細長い「本丸」、空堀を挟んだ東側に「二ノ丸」、さらに東に「三ノ丸」を配置します。「二ノ丸」と「三ノ丸」の間は堀切によって分断されています。それらの周囲には竪堀や曲輪がいくつも存在し、「本丸」は総石垣であったと推定されます。城郭の規模は甲賀郡随一で滋賀県内でも最大級です。

眼下には東海道が東西を通り、鈴鹿越えの道を押さえることを意識した当時の戦略がうかがえます。また、秀吉は甲賀武士を改易させ、甲賀郡の支配体制を強化していきます。水口岡山城は、豊臣政権における甲賀支配の中核となる城だったと言えます。



近江鉄道「水口駅」↑

- 曲輪(くるわ) : 城内に設けられた平坦地
- 堀(ほり) : 防御のために掘られた溝
- 眺望ポイント
- 通行注意箇所 : 通路幅が狭し、片側崖面

- 土塁(どるい) : 防御のための土手状の高まり
- 櫓台(やぐらだい) : 櫓を建てるための土壇
- 散策路

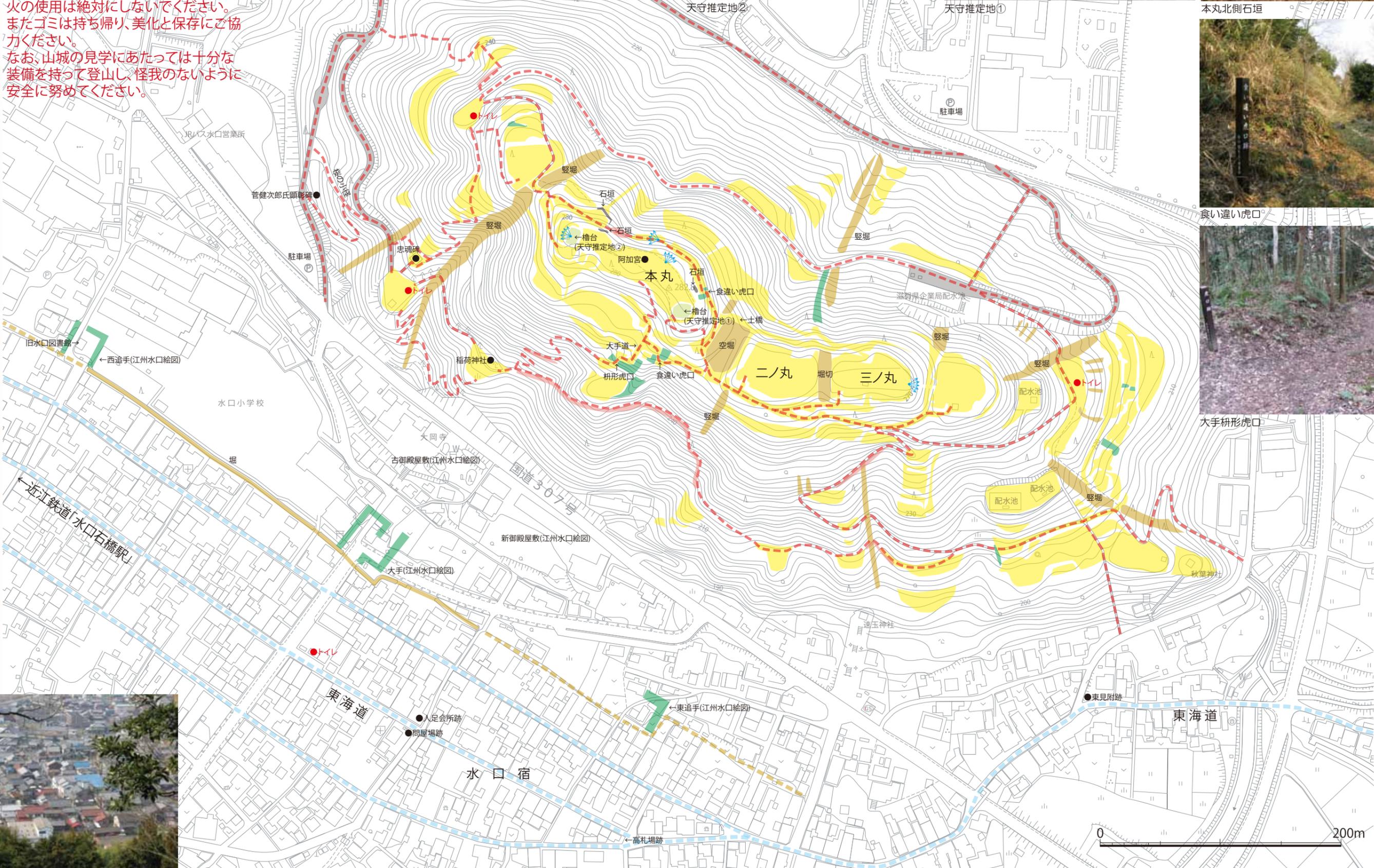
水口岡山城跡は滋賀県の保安林です。火の使用は絶対にしないでください。またゴミは持ち帰り、美化と保存にご協力ください。なお、山城の見学にあたっては十分な装備を持って登山し、怪我のないように安全に努めてください。



天守推定地②

天守推定地①

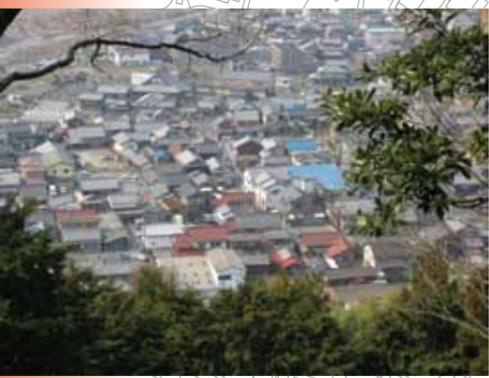
本丸北側石垣



食い違い虎口



大手枡形虎口



城から見た現在の城下町

0 200m

本図は高田徹氏作成の縄張り図（『甲賀市史』第7巻所収）を元として作成した